2015年9月30日

東京都知事　舛添要一様

公益社団法人　日本建築家協会（JIA）
関東甲信越支部　支部長　上浪　寛
同保存問題委員会　委員長　安達　文宏
同中央地域会　代　表　石川　雅英

数寄屋橋交番の活用継続要望書

拝啓　　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
貴職におかれましては日頃より文化の継承に理解を示されていることに敬意を表しますとともに、当会の活動に格別のご理解を賜り深く感謝申し上げます。

去る3月、数寄屋橋交番の建て替えの計画が報道されました。それによりますと、同交番が耐震上の問題があること、女性警察官用の休憩室、洗面所がないことが理由として挙げられております。
同交番は1982年に東京都の文化デザイン事業の初期に建設されました。設計は東京工業大学の教授を務めた山下和正氏です。建設以降30年以上、「赤レンガのとんがり屋根」として市民にも親しまれ、銀座の主要なランドマークとなってきました。かつて掘割があり、橋が掛かっていた土地の記憶を想起させる、欄干の擬宝珠のような外観は景観上も高く評価されています。当時、画一的で無表情であると批判されていた交番施設へ、市民に親しまれる表情を与えた先鞭としても、大変価値が高いものです。

構造は鉄骨造で、耐震補強が比較的容易な方式です。外装は当時先進的な技術であったレンガ・カーテンウォールが採用され、屋根は銅板が葺かれており、大変耐久性が高いものです。未利用の小屋裏のスペースなどの利活用による休憩所や洗面など若干のスペースを生み出すことは十分検討の余地があります。
建設からの30年余は、市民へのランドマークとして定着するのには十分な年月であった一方、耐久性を考慮して計画された建物としては、極めて短い期間です。長年市民に親しまれ、十分な耐久性をもった数寄屋橋交番の補強改修による活用継続を要望させていただきます。

なお、公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部、同保存問題委員会，同中央地域会は数寄屋橋交番の活用継続について、出来る限りの協力をさせて頂く所存であることを申し添えます。

敬具

公益社団法人 日本建築家協会
The Japan Institute of Architects
関東・甲信越支部
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館
Tel.03-3408-8291 Fax.03-3408-8294